

尾上の郷だより



第1号

平成20年1月発行

発行責任者
：渡部博也

編集
：尾上の郷広報委員会

「平成20年を迎えて」



仙齡会 理事長

荒尾 潤

新年あけましておめでとございます。新春のお慶びを申し上げますとともに、本年も皆様にとってよいお年でありますことを祈願申し上げます。また、昨年は小規模多機能居宅介護事業所「尾上の郷」を開設できましたこと、皆様のご支援の賜物と誠に感謝しております。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、偽装と言う社会問題が噴出した年だと思われれます。有名老舗も例外ではなかったことから、名が通っているや歴史があるといった、従来使用していた信頼の目安が根底より覆ってしまったものと考えられます。この社会の流れは、介護業界にとっても例外ではないでしょう。第三者機関による情報公開制度が始まり、利用者の方からの評価が、より厳しいものになっていくと考えられます。介護事業者にとって、本当の意味で質が問われる時代に差し掛かったものと考えております。これまでの実績に驕ることなく、これからも利用者の皆様に選んでいただける事業所を目指し、職員一同頑張つてまいります。

「新年を迎えて」



尾上の郷 施設長

渡部 博也

あけましておめでとございます。新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が皆様にとってよいお年でありますことをお祈り申し上げます。尾上の郷は開設後、始めてのお正月を迎えることができました。地域の皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。

小規模多機能居宅介護施設とデイサービス、ヘルパー事業も統合し、地域の在宅拠点として皆様に愛される施設を目指して頑張つてまいります。昨年の11月にはデイサービス尾上と居宅支援事業所が第三者機関による情報公開の調査を受け、その結果がインターネットに公表されております。また、小規模多機能は開設後、半年が経過しましたので、職員による自施設の自己評価を実施し、第三者機関による外部評価の準備に入ります。尾上の郷は法令遵守と利用者さんを選んでいただける事業所を目指し、職員全員で取り組んでまいります。本年も皆様のご支援とご指導をよろしくお願い致します。